

水ときらめき紀の川館に

団体の来館者がありました



流水調整課

H30.05.28

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立名草小学校4年生**の皆さんが見学に来られ、当事務所から流水調整課3名が対応しました。

まずは紀の川大堰をクイズ形式で学び、たくさんの皆さんが手を挙げて答えてくれました。

職員をうならすほどの質問や疑問も多く、皆さんの関心の高さがうかがえました。

快晴の空のもと、魚道観察室では、大きなボラも顔を出し、間近で見る自然魚に皆さん大興奮して喜んでいました。

屈託なく笑う皆さんを見て、先生方も「しっかり勉強もできたし、みんな楽しそうで良かったです」と喜ばれていました。

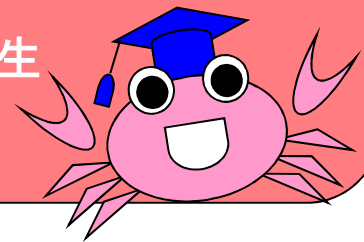
団体見学概要

日 時：平成30年5月25日（金） 12:30～14:00

会 場：水ときらめき紀の川館

参加人数：64名（生徒61名、先生3名）

団体名：和歌山市立名草小学校4年生



1. 紀の川大堰概要説明

はじめに、職員が今日の見学のスケジュールを説明しました。集中して話を聞いている様子。

そのあと、スライドを用いて紀の川や紀の川大堰の仕組み・役割などを勉強しました。



2.館内の見学

展望デッキに上がると紀の川大堰と魚道が一望できます。スライドで見たものをもう一度復習しました。



展示ホール奥には、魚道に設置されているカメラを操作できるパネルがあり、少し離れた魚道の様子を見ることができます。



2階操作室をガラス越しに見学。ここで大堰のゲートを動かしたり、近辺の監視や管理をしています。

うわあ！機械がたくさんあってかっこいいなあ！



いつも大人気の1階パソコンコーナー。紀の川クイズ、全問正解したよ！と嬉しそうな顔がたくさん見られました。



3.館外の魚道見学

さあ、魚道に出発～！



階段を降りて、魚道観察室へ。



職員の話聞きながら、興味津々に人工河川式魚道をのぞき込んでいる様子。



魚道観察室では、階段式魚道を横から見ていただけます。



質問

Q.(展望デッキにて) 管理所の建物の一番高いところにある丸いものはなんですか？

A.内線電話や様々な情報などを電波でやりとりするためのパラボラアンテナです。

感想

操作室の中で働いている人たちは、交替しながら、昼も夜も週末もお正月も365日紀の川大堰を見守っているとすると、とっても大変な仕事だなあと感じました。

